



発行所 田代町公民館 電話19

発行責任者 小 川 兵 一

編集責任者 前 原 勇 孝

10 月 号

印刷所 鹿屋市 新生社印刷所 電2238

今月のこよみ

- 1日 法の日、統計記念日
- 9日 寒 露
- 10日 目の愛護デー
- 14日 鉄道記念日
- 17日 貯蓄の日
- 23日 靖国神社秋例大祭
- 24日 霜 降

主 な 行 事

- 初旬 新聞週間
- 下旬 交通安全週間
- 〃 結核予防週間
- 〃 読書週間
- 10月7日 田代小運動会
- 10月9日 成人学級
- 10月10日 田代校区婦人学級
- 10月13日 大原小中運動会
- 10月21日 川原保育園運動会

赤い羽根
共同募金月間

くらしのしおり

衣

天高く馬肥ゆる秋
涼しい気候となり、心身共に晴々とする時期となりましたが収穫冬作の作付時期でもっとも忙しい頃となりました。

だんだん日も短くなり寒い冬が近づいて来ますが、冬の着物、夜具の手入れはおすみになりましたか、夏に虫ぼしした衣類をよく調らべましょう。洗濯するものは早くすませ、毛織物、絹、ナイロン、テトロン等は布地のいたみを防ぐため中性洗剤で洗いましょようかげ干しとし、アイロンかけは低い温度でかけましょよう。

食

すから気持ちよく休めます。

農繁期となり時間的にも多く働かなければならず、それに加えて労働のばげしさも格別です。そのために失われる栄養も大きいので、忙がしさにまぎれて食事作りの暇さえない時期でつい食事がかたよりがちです。つとめて肉魚、卵等を多くとり併せて油類、青野菜等も多く食べいつも健康に気をつけ働ましょよう。

住

住居はいつも清潔にいたしましょよう忙がしさにため、住いの事はおきざりにしがちです。

子供にも、年令能力に応じた仕事の分担をさせ、予定をたてて働く。めいめい身の回りの始末をするようにしましょよう。

水 明

うその方便といい、うその効用といわれたが、二宮尊徳はここにもいい、うそがとかく世の中に力をもっているのも、世の中が虚と実との一体になつてゐるからであります。

いまの世の中はうそでもさしつかえないようであるが、これはその相手もまたうそだからである。うそとうそであるので、すきになくどこおきもない。だがもしうそをもつて実に対するときは、すぐさしかえを生ずるものである。たとえば百枚の紙を一枚とつても知れないようであるが、九十九枚目になつて不足する。また百間のなわを五寸切つても同様であり、九十のなわ生活が営まれているからで九間目になつて、その足りないことがわかる。

天地を相手とする農業は、少し人の暮らし方でも、一日一円とつてもうそのできない仕事であるが、十五円つかい、二十円とつて二十しかし人と人の交渉ごとにはうそ五円つかうときは、年の暮まではが多く、正直者がばかをみると言われないけれども、大みそかにう風があるが、真実が尊ばれてこなつてその不足がわかるのである。そ、明るく正しくみんなの幸福なうその実に対することのできな生活ができるのであります。

二宮翁語より。

今月の農事メモ



畜産

○秋の飼料作物を早目に作り生産費用を下げましょう(青刈エンバク、イタリアンライグラス、コモンベツチ、レンゲ、クロバ、家畜カブ等)

○気候の変化で感冒(かぜ)にかかりやすいから注意しよう。

○秋ビナの育成夜間給餌を行う。

○粗飼料として間引き野菜(てんさい)カンショの利用で飼料の節減を図る。

○カンショの利用で肉用家畜の肥育

○サイロの詰込み作業(カンショ蔓又はイモ糖飼料)

○生イモ生カンショ蔓の食べ過ぎは鼓眼症をおこしやすいから注意しよう。

○てんさいの間引は終わりましたか早目に一本立にしましょう

○てんさいの害虫発生に注意
ヨトウ虫類の駆除
ディブテレックス乳剤
(1000倍液)
DDT乳剤(400倍液)

○ナタネ苗床の種子まきを急ぎましょう。
500苗位が適当

中旬

○普通水稲は適期に刈取つて品質の向上をはかりましょう。

下旬

○てんさいの追肥

播種後二ヶ月頃が第二回追肥の適期です硫酸二〇kg、又は尿素九kg程度

○ヤギ、メンヨウは発情の状態を見て種付をする。
○仔牛の販売又は購入準備
○豚の生産は登録豚で子豚は市場で売買しましょう。
○和牛の生産は登録牛で種付は母牛に合った種牡牛を選びましょう。

普通作・園芸

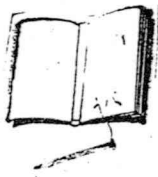
公民館 たよみり館

読書の秋となりました。ただ今公民館には、県立図書館から児童図書二〇〇冊、普通図書三五〇冊が配本になりました。

尚県図書は四ヶ月毎に交換しますが今回は九月十三日から、一月十三日までです。多数御利用下さい。ほかに町図書も三八〇冊そろつております。

読むことは内容の充実した人をつくる。

書くことは正確な人をつくる。
話すことは気分のよく人をつくると云われるごとく、特に現代社会においては、内容の充実した人間をつくるのが大切で、そのために蔵書数からして、郡内でもトップに位する本町公民館図書を大いに読んでいただき豊かな暮らしの友としてご活用下さい。



家畜市場況

10月時報

○肉豚共販

月日	区分	共販頭数	生体量	枝肉量	歩留	枝肉代	枝肉精金	生体K当平均	芝浦価格(上)	販売先
8	13	45	3.670 ^K	2.131.5 ^K	58%	613.293	531.153	144	305	芝浦
8	23	42	3.163	1.834	57	545.848	474.976	150	305	〃
9	3	17	1.392	830.5	59	241.740	210.677	151	305	〃

○子豚セリ市 上段メス 下段オス

区分		出場 頭数	売				却		普通豚平均 豚平均	平登記 (含本人 売却)	総平均 (含本人 売却)	売却率
月	日		頭数	価 格	最 高	最 低	平均	売却平均				
8	25	7 5(12)	5 5(10)	32.000	3.700 4.100	2.700 2.800	3.100 3.300	3.200	普 登		3.075	83%
9	5	5 5(5)	4 4(4)	9.200	1.9.600	1.100	2.300	2.300	普 登		2.280	80
9	15	6 9(15)	6 8(14)	40.400	5.900 3.200	1.100 1.900	3.483 2.437	2.885	普 登		2.760	93

仔牛価格は秋が最高

8月から上昇するのが例年の動き和牛価格は下落するか、現に開催の仔牛せり市は芳しくない成績であるが、これは実は例年春から下げ相場に移行し、7月が最低8月から上げ相場に移り10月から11月が最高の曲線を描いている。
結局、仔牛相場は秋が最高で冬がこれにつき夏が底値を示すのである、即ち春から夏にかけての牛肉消費は停滞し、豚肉の消費がふえる傾向にあることがその原因と考えられる。